

私立大学図書館協会西地区部会
2024（令和6）年度九州地区協議会 臨時メール会議 議事録

1. 日時（期間）：2024（令和6）年12月16日（月）～20日（金）正午
2. 場所：メール会議
3. 加盟館数：48校

I. 審議事項

(1) 九州地区研究会（案）について・・・資料1

1) 九州地区研究会幹事校について

資料のとおり提案され、原案どおり承認された。

承認する（47校） 承認しない（1校）：実際は「回答保留」の取り扱いを希望

【ご意見】

私立大学図書館協会 西地区部会 九州地区協議会 理事校としての重責への御対応、誠にありがとうございます。深く感謝申し上げます。

誠に恐縮ながら、現在、多くの大学図書館が「業務合理化・人員削減」等の影響により、本協議会における「研究会幹事校」のような「学外用務」を担当することが極めて難しい（不可能な）状況になっているものと推察いたしております。

実際、今回の「幹事校変更」も「業務委託に伴う人員削減」が辞退理由だったように記憶いたしております。本校も同様な理由に基づき、代替校を務めることはできません。

このような状況において、「幹事校変更の場合は、所属する地区内にて代替校を選出せよ」という方法では、本案件に関する根本的な解決につながるか疑問です。

本来の図書館業務をこなすことで精一杯で、更に「学外用務」を担当・実施することが不可能な状況となった場合、「加盟校」としての責務を果たせないことで「協会からの脱退」を検討せざるを得ない図書館が出てきてしまうのではないのでしょうか？

（本学では、過去に学内から「脱退を検討すべき」との意見が出たこともございます）理事校という重責をお引き受けいただいている貴校へ、このような物言いをいたしますことは甚だ不本意ではありますが、各校の現状を踏まえ、より抜本的な改革（研究会等の開催年度を大幅に減らす、或いは取りやめる等）を検討する必要はないのでしょうか？

（改めて、誠に恐縮ながら）上記のような状況を考慮し、今回の「審議事項 - 1-1）九州地区研究会幹事校」については、「回答を保留」させていただきたく存じます。

※ 上記設問への回答が「必須」となっているため、形式的に「承認しない」を選択いたしておりますが、実際は「回答保留」の取り扱いを望んでおります。

本学側の事情のみを申し上げ、また、誠に不躰 且つ 無礼な物言いをいたしまして、心よりお詫び申し上げます。誠に申し訳ございません。何卒、お許しください。

御理解・御協力、感謝！

2) 研究会のテーマ及び内容について

資料のとおり提案され、原案どおり承認された。

承認する（48校） 承認しない（0校）

【ご意見】

実施のイメージ案より、承合事項・研究発表者がなかった場合は幹事校で自由に決定とありますが、その場合、幹事校に大きな負担がかかることにならないでしょうか。そこが少し気になるところです。

3) 発表者について

資料のとおり提案され、原案どおり承認された。

承認する（48校） 承認しない（0校）

4) 承合事項について

資料のとおり提案され、原案どおり承認された。

承認する（48校） 承認しない（0校）

以上